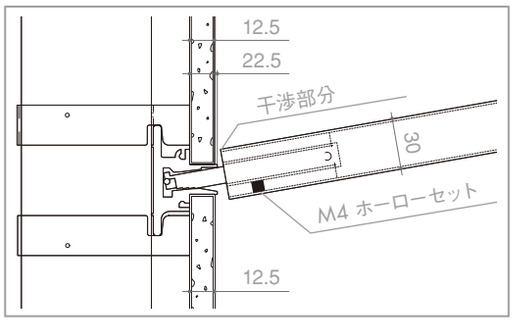
注意事項



■壁面厚さと棚板厚さについて

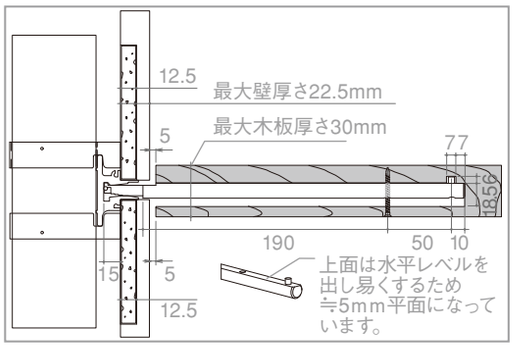
- 仕上げボード厚さ12.5mmに対してロッド≒4mmの隙間がある設定です。

  ＊斜め挿入によるフェイスアウトの干渉を予防しています。

- タイル等厚さの異なる仕上げの際はM4ホーローセットを緩めて調整してください。

  ＊ロッドをレールに挿入する際は外側化粧パイプ径や棚板角が壁面に干渉する事があります。特殊壁は厚さ計算を予め行って下さい。

  壁最大厚さ＝22.5mm（ボード12.5mm＋10mm）
  棚板・フェイスアウト最大厚さ＝30mm（ロッド12mm＋片側9mm）



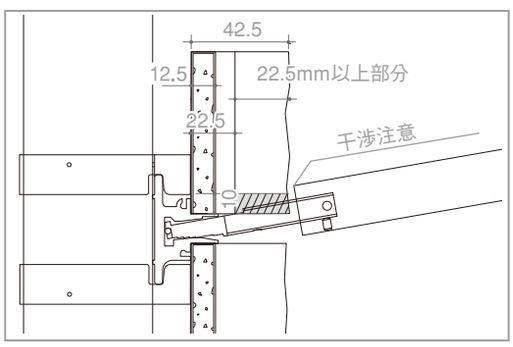
- 仕上げ壁厚さに対して棚板の間に隙間が必要です。

  ＊予め厚さ計算を予め行って下さい。

  壁最大厚さ＝22.5mm（プラスタボード12.5mm+10mm）
  棚板・最大厚さ＝30mm（シェルフロッド12mm+片側9mm）
  棚板水平時の壁との隙間は≒5mmになります。

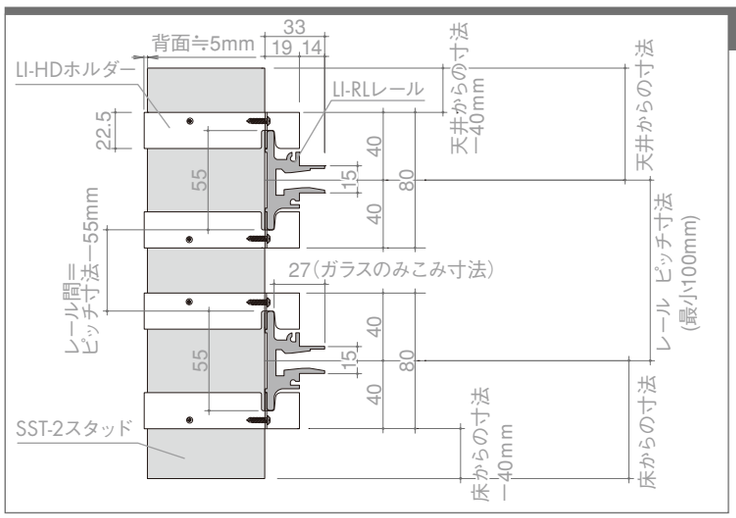
  ＊棚板をビス止め固定する場合、シェルフロッド飲み込み寸法＝15mm＋壁厚さ＋隙間（≒5mm）

  ＊干渉する場合は調整下さい。



■特殊厚さの仕上げの場合

- 石貼りなどの壁厚さが22.5mm以上の場合は、ロッドや棚板干渉対策として石等をL型に切り欠く必要があります。
  （50mm厚で≒10mm×27.5mm分）
- その際はロッド挿入部分の寸法を変更します。固定のM4ホーローセットにて調整下さい。
- 尚、ロッド挿入寸法が短くなる為、耐荷重は極めて低くなります。ロッド挿入可能も含め、予め試作等検証の上対応下さい。
- 特殊壁面や特殊棚板の場合はお問い合わせください。



レール納まり図

LI-RLレールの芯寸法に対してLI-HDホルダーを取付ける際はフラット面が−40mmになるよう墨出しして下さい。

＊最小ピッチ100mmとなります。
正面よりホルダーを通す為、若干寸法の余裕を見ています。

＊100mm等狭いピッチで施工する際は、ドライバーが使用できるかご検討下さい。

又、SST-2スタッドを立てる背面は予めホルダーを納める隙間を5mm程度余裕を見てください。